

## 地下空間研究委員会 4小委員会の委員募集

地下空間研究委員会

### 【地下空間研究委員会の活動】

土木学会地下空間研究委員会は、地下空間利用に関する調査・研究を行うとともに、関連する他委員会、他学協会および海外機関との連携と国際的基軸となる活動を行い、学術・技術の進歩に寄与することを目的に設置されています。

委員会では開設以来、地下空間の計画・建設・利活用等を網羅した「地下空間学」の創造をめざす調査研究活動を行ってきました。親委員会で議論・設定されたテーマに基づき小委員会毎に役割を分担し、課題解決に向け様々な活動を行っています。

近年、トンネル陥没事故や盛土崩壊など地盤関係のトラブルが少なくないこともあり、土木学会の「地盤の課題と可能性に関する総合検討会」において、様々な立場から、俯瞰的に検討が進められました。当委員会からも委員が参加し、多角的な観点からの議論を進めました。

我が国の都市における地下空間利用は、1927年の銀座線（上野～浅草）の開業にはじまり、以来100年を迎えようとしています。この間、地下鉄、地下道、地下街など都市活動を支える重要なインフラとして構築されてきました。その多くが建設から50年を超えようとしています。近年、大規模な地下空間開発は多くありませんが、地下鉄の延伸、地下鉄駅と地下街や隣接ビルとの接続による地下歩行空間ネットワークの拡張など、これまでの地下空間施設のストックを有効に活用し、新たな時代に向けた施設の更新が進められています。

地下は地上や空中に比べ、人間が利用する上で非常に課題が多い空間です。しかし、地下空間を利用することにより、効率的な土地利用や交通の確保、インフラ施設の埋設、洪水対策施設（雨水地下調節池）の設置などにより、我々は多くの便益や安全を享受しています。持続可能な社会基盤構築のうえでも、地下空間は有用な空間となっています。

今後、新たな時代の地下空間利用に向け、さらなる技術開発や制度の見直しなど、多くの課題解決が必要と考えます。中央リニア新幹線に代表される大深度地下利用や、耐震性の確認、地下街・ビル地下部などのネットワーク化に伴う運営と災害時対応、地下空間の維持管理や更新など、様々な課題が残されています。これらの課題解決のためには、人間が利用する地下空間としての視点から、土木工学にとどまらず、建築、防災、心理、法律、医学、福祉、情報学など、分野横断の総合的な議論が必要です。

地下空間研究委員会は、土木学会の第VIII分野（分野横断）に属しており、地下空間を題材として、多様な技術や関心を持つ、多くの皆様に参加いただき、分野横断の議論を展開したいと考えています。

### 【4小委員会の活動】

地下空間研究委員会では、4つの小委員会において、それぞれ以下に示す目標・テーマを設定して調査研究活動を行っています。

## ① 計画小委員会

地下空間ネットワーク形成、リノベーション、防災・減災、地下空間の有効利用などの観点から、事例調査を行うことにより、より良い都市の地下空間整備の方策を検討する。

## ② 防災小委員会

地上・地下を含めた都市のあり方を見据えながら、地下空間における防災について総合的かつ実践的な研究を推進する。

## ③ 心理小委員会

「地下空間の知覚環境に関する研究」をテーマとし、心理学の観点から、地下空間における人間の行動（知覚環境、災害時行動など）について研究を行う。

## ④ 維持管理小委員会

国内外の地下構造物を対象に、実践的にマネジメントを行う上で必要な「維持管理における点検（検査）手法、それらの評価手法の実態」および「管理者責任」について調査・分析する。

なお、地下空間研究委員会及び各小委員会の詳細は、[土木学会地下空間研究委員会 \(jsce-ousr.org\)](http://jsce-ousr.org) を参考にしてください。

### 【委員の任期】

2023年6月1日～2026年5月31日（3年間）

なお、課題の解決状況から、2026年以降の小委員会への継続参加も可能です。

### 【応募の方法】

各小委員会に委員として参加を希望される方は、次の事項を記載のうえ、下記の応募先まで E-mail にて送付ください。（メール題目は「地下空間研究委員会参加希望」とご記入ください）

- 1) 氏名
- 2) 年齢
- 3) 所属並びに役職
- 4) 連絡先（住所、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス）
- 5) 参加を希望される小委員会名（複数委員会への応募も可）
- 6) これまでの地下空間との関わりと、応募に際しての抱負

応募締切日：2023年5月24日(水)

応募先：土木学会（地下空間研究委員会担当） 小澤一輝

E-mail：k-ozawa@jsce.or.jp